

4.28 沖縄デーに向けて 青年・学生の統一戦線を実現しよう！

△連絡場所

民青千代田

地区委員会

丁目一(二六一)七三〇八
(二六三)五八六六

日本民主青年同盟工学部班 農学部班

4.28 決戦論を唱え、民主勢力の統一に背を向けて、逆に、大学立派な政治家を育てるための教育の再編などとの政府の治安体制強化の絶対的口実を与えて、いわゆる全共斗一派に牛をかし、孤立して、挫折するのか、それとも小さなスイホームの夢を追い、全民主勢力を睨み、無主義を維持するのか、それとも日本の独立、平和、中立をめざし、反動的教諭を唱えるか、それとも日本の民主勢力と共に團結して、斗争のかたに立ち、それが誰か、とりわけ新入生諸君。我々青年の豊かな学生生活と自分の青春を有益にすごすため、我が同盟に結集して、斗争のことばを叫びかける。

1952年6月22日、日本安保条約固定期限終了の日を記念して、日本は、政府・自民党は、安保条約の自動延長を自論でいる。しかし、米国への従属と沖縄の領土占領を許したサンフランシスコ和平条約と、それにともとなく日本安保条約を結びました。この条約の第三条によつて沖縄は本土ときりはなされましたが、毎年、本土と沖縄でサンフランシスコ体制打破の日とし、統一行動をくりひろげてきました。この辱めをめぐらす。

1952年6月22日、当時の吉田内閣は、日本人民の独立と平和の声をふみにじり、アメリカ帝国主義との間にアーヴィングの第三条によつて沖縄は本土ときりはなされました。この条約によって、日本の民主勢力は、この四月三十八日を国民的な屈辱の日とし、毎年、本土と沖縄でサンフランシスコ体制打破の日とし、統一行動をくりひろげてきました。

4.28 沖縄デーとは